駿台 中学部・高校部

東大・難関大・医学部 現役合格に向けて 中学からやっておくべきこととは

中学入試を乗り越え、これからスタートする中学生活に胸をときめかせる一方、新しい学びに不安を抱えている方も少なからずいらっしゃるのではないでしょうか。中学からの学習は、これまでに比べて抽象性が増すことで、より高度な学びへと変化します。この変化に対応することが、東大・難関大・医学部現役合格につながる学力の土台になると言われています。どのような学習法へと変えていけばよいのか、駿台中学部・高校部で進路アドバイザーも務める校舎長のみなさんに伺いました。

jr.sundai-net.jp

学習習慣の維持、学び方の変換ができるか

――駿台中学部には、中1から多くの生徒が通っているようですが、中学校入学前に取り組んでおいた方が良いことはありますか。

早川　中学受験直後の息抜きも必要ですが、今までの学習習慣をしっかり維持することが大切です。人間は新しい習慣を身につけるまでに約2カ月かかると言われています。入学まで約2カ月勉強しない日々を過ごすと、その生活が新たな習慣になってしまう恐れがあります。学習習慣の維持には、小学校で習った英単語や計算問題の復習でもよいですし、中学内容に踏み込むなら、駿台中学部で2、3月に行われる中学準備講座に通うのも1つの方法です。

江添　学ぶ習慣とは、必ずしも机に向かわなければならないということではありません。中学受験での暗記型の勉強法も1つの学び方ではありますが、展覧会や博物館で物事の成り立ちや仕組みに触れるなど、理解型の学びに立ち返ってみることも重要だと思います。このような課外学習と駿台での中学準備講座を通した先取り学習を並行することで、中学進学に向けたバランスの取れた良い準備期間になるのではないでしょうか。

梅木　学習習慣の維持に加えて、新しい目標を持つことも考えてほしいですね。大学受験だと実感が湧かなければ、中学での学習における目標、たとえば最初の定期テストで90点以上取るといったようなものでもよいでしょう。この時期に学習習慣を確立できた子どもたちは、大学受験で良い結果を残しています。

質の高い授業と切磋琢磨できる仲間達で作り上げる最高の学習

――駿台中学部の特色や、活用法について教えてください。

石原　駿台中学部は、東大や医学部をはじめとした難関大学を目指す中学生が通う進学塾です。授業は双方向で質問がしやすく、生徒一人ひとりに目の行き届く指導を行っています。厳しい中学受験を勝ち抜いてきたライバルと切磋琢磨できることや、自習室が全校舎に設置されているので、授業のない日でも駿台に来て勉強する生徒が多く、先輩たちや受験間近の高校生たちの姿を見て学習意欲が高められる環境と言えます。

吉祥寺校　校舎長
早川 大地 さん

伊高　駿台は「原理原則の理解」を指導方針とし、教科専任のプロ講師が、深い理解を得られる授業を展開しています。本質を突いた授業は、毎年多くの卒業生を難関大学合格へ導いています。また、難関大学合格から逆算されたカリキュラムも、効率よく学習ができると生徒からの評判も高いです。

梅木　駿台で原理原則を学び、さらに学校の授業で同じ単元を学ぶことで、学校での学習の定着にも良い影響を与えていると思います。

石原　駿台は100年以上続く伝統と実績がありますが、近年ではICTを使った教育にも力を入れ、個別最適化された学習もできるようになっています。また、オンライン授業や授業の録画も用意しており、部活や学校行事に忙しい生徒も、自分に合ったスタイルで学ぶことができます。

早川　塾で競い合える友人ができることも、大きなメリットです。得られる情報が学校のみの場合、どうしても視野が狭くなりがちですが、他校の友人から得られる情報に刺激を受け、視野を広げモチベーションを高めている生徒もたくさんいます。

学習法から生活習慣まで、幅広く生徒と保護者をサポートする伴走者

――進路アドバイザーには、どのような相談が寄せられるのですか。

梅木　生徒から最も多い相談は、勉強と部活の両立についてです。中学校から始まる部活動との時間調整がうまくいかない場合が多いです。相談を受けた際はできるだけ生徒本人から話を引き出し、その悩みに対して「なぜ」そうなったかを聞くことも忘れません。生徒に言語化させることで、問題のありかに気づかせ、生徒と一緒に解決策を見出していくことが大切です。

石原　生徒には常に「何か（私に）できることはない？」と声をかけています。生徒からは学習法やテキストの使い方などの相談、保護者からは寝る時間やスマホとのつき合い方などの生活習慣に関する相談が多いです。現状の正確な把握と、できる限り数値化された客観的なデータに基づいたアドバイスを心がけています。

津田沼校　校舎長
石原 淳 さん

早川　思春期を迎えた中学生のお子様への接し方に悩まれているご家庭が多いようです。親子で心理的な距離ができてしまっている場合は、学習面は基本的に駿台に任せていただき、成績に関しては気にかけつつも、ポジティブな声かけやモチベーションが上がるような接し方をご紹介するようにしています。

江添　学校の定期テストの勉強法について相談を受けることも多いです。その際は、テスト問題と答案用紙を持ってきてもらい、正解できなかった理由を一つひとつ掘り下げ、次の定期テストに向け、何を重点的に学習すべきかを一緒に考えるようにしています。

伊高　スマホに関する相談が増えていると話しましたが、単に生徒に使用をやめさせるのではなく、ご家庭と共に原因を考えることが大切です。たとえば、保護者の方には「お子様の前で、スマホを触っていませんか」とお聞きすることもあります。保護者がご家庭でスマホを触ることが多いと、子どもも触ってしまう傾向があるのです。

基礎からの正しい積み重ねが東大・難関大・医学部合格への最短ルート

――難関大学に現役合格できるような生徒は、中学段階でどのような力が身についているのでしょうか。

早川　各教科の基礎、特に英語と数学の基礎がきちんと固まっている生徒は強いです。難関大学の入試で求められる、高度な論理的思考を攻略するための基礎とは、問題の本質を理解することです。これを中1から正しく積み上げた生徒は確実に合格という成果を出しています。

お茶の水校　校舎長
江添 裕 さん

江添　具体例でいえば、テストや模試を解き直す習慣がついている生徒です。なぜ解けなかったのか、他の解き方はないのかと考えることを重視している生徒は、必ず伸びていきます。逆に解き方を覚えるような安易な攻略法を求める生徒は、うまくいかないことが多いですね。また、受験勉強は高校生になってから始めればいいと思う方もいるかと思いますが、特に英語・数学は既習内容が土台となる科目で、学年が上がるにつれて取り戻すのが難しいため、中1から丁寧に積み重ねていくことが大切です。

伊高　難関大学に合格できるすべての生徒が特別な勉強法や学力を持ち合わせているわけではありません。とにかく大事なことは勉強のabc（a：あたりまえのことを、b：ばかにせず、c：ちゃんとやる）を毎日続けることです。特に中高一貫校は公立に比べて学習進度が早いため、意外とこのabcを守れず、気づいた時には苦手になっていたという途中入学者からの相談は後を絶ちません。

梅木　中学生のうちに、日本語を正しく使える力を身につけることも重要です。今の大学入試は表現力が重視されていますし、増加している学校推薦型選抜や総合型選抜などでも、志望理由書や面接などで正しい日本語を使えることが求められます。難関大学を狙うなら、書いたものは採点されるという意識を持ってほしいですね。

石原　難関大学現役合格を目指すなら、自立した学習が欠かせません。小学生と中学生の勉強の違いは、主体的にやるかどうかにあります。中学受験は保護者の関わりが大きかったと思いますが、中学になると学ぶ内容がより深く抽象的になるため、これに対応する学力は自ら学ぶ姿勢がないと身につきません。そのため、駿台中学部では通ううちに自然と学習習慣が身につき、思考力を育んでいく指導をしています。

――最後に新中1生や、その保護者に向けてメッセージをお願いします。

早川　新中1生が勉強につまずく理由の大半は、進度についていけなくなることです。中高一貫校の速習に耐えうる確かな土台は、量をこなす勉強ではなく、質の高い学習により作り上げることができます。ここが中学受験と中学生以降の勉強の一番の違いですが、難しい考えや行動が必要なわけではありません。教科に楽しんで取り組むことができれば、自ずと理解型の学習に移行することができます。新しいことへの挑戦をぜひ楽しんでください。

渋谷校　校舎長
梅木 直人 さん

伊高　第一志望校に合格した卒業生から、「駿台に6年間通って本当に良かった」という声を数多くいただきます。そのような塾を目指していますし、それが我々の使命だと思っています。ぜひ一緒に頑張りましょう。

横浜校　校舎長
伊高 芳和 さん

梅木　駿台中学部では、中学受験が終わった2月、3月に無料体験授業や中学準備講座、春期講習など、多彩な講座をご用意しています。中学の最初のテストでうまくいけば、どんどん調子に乗っていけますし、逆につまずくと勉強が嫌いになってしまう分かれ目でもあります。この2カ月間の学習は、その後の人生にとって大きな意味があると思います。

石原　駿台にはお子様の第一志望校合格と将来の夢の実現に向けての環境がすべてそろっています。中学生活のサポートは駿台中学部にお任せください。

江添　中学1年生は、過ごし方次第で今後の学力伸長の傾度が変わってくる重要な学年です。正しい姿勢で正しい学習を、毎日手を抜かずに取り組む。あたりまえだけれど難しいことをぜひ駿台と一緒に実現させていきましょう。

駿台 SUNDAI
中学部
高校部
大学受験コース
中高一貫 中学生

中学生から、駿台。
早期入学特典あり
2025年度 英語 数学
中学準備講座
2/9日より順次開講!

新中学1年生対象
東大・難関大・医学部への道
現役合格へ向けての学習法、入試の攻略法をご紹介します。
親子ではじめる! 大学入試入門講座
最新の大学入試情報や大学選びのポイントなどの基礎知識をお話しします。
入学説明会・学習相談
駿台伝統の中高6年一貫教育と中学からの学習法をお伝えします。
学力診断テスト
テスト結果より中学からの最適な学習のスタートをアドバイスします。

駿台中学部 0120-59-2612 駿台中学部 検索
大学受験コース ●お茶の水校 ●池袋校 ●渋谷校 ●西葛西校 ●豊洲校 ●自由が丘校 ●吉祥寺校 ●大泉学園校
高校受験コース ●横浜校 ●津田沼校 ●千葉校